

3. ハムストリング筋の左右差検査

3. ハムストリング筋の左右差検査

★関連する項目

- ・第2章 主動筋テーピング (p.43~)
- ・第3章 腰背部テーピング (p.71~)
- ・第8章 4. 左主動筋B(大腿外側)テーピング (p.188)
- ・第9章 1. 右大腿部／急性期テーピング (p.196) 2. 左大腿部／急性期テーピング (p.198)



術者は奥後ろに位置して、両手掌を腰間なくハムストリング筋（もも裏）に当てる。



術者の目線はハムストリング筋に置いておく。



前屈 10° で右ハムストリング筋が細くなる=コンディションが悪い。
インディケーター・ポイントは、すぐに右ハムストリング筋が細くなり始めることがあります。
手拳の感じ方で右ハムストリング筋が細く、同時に筋が下に引かれるように動くのが分かります。
視診（目視）でも、右ハムストリング筋が細くなるのが分かります。



前屈 15~30° で右ハムストリング筋が細くなる=コンディションやや悪い。
インディケーター・ポイントは、手拳で、どんどん右ハムストリング筋が細くなり下に引かれるを感じることです。
視診でも、右ハムストリング筋が細くなるのが分かります。

検査 第1章	
第2章	坐骨神経テーキング
第3章	腰背筋マッピング
第4章	筋肉マッピング
第5章	筋膜回旋テーキング上肢
第6章	筋膜マッピングの講義
第7章	セルフマッピング
第8章	ペラクテーキング
第9章	脊椎筋マッピング
第10章	特別編

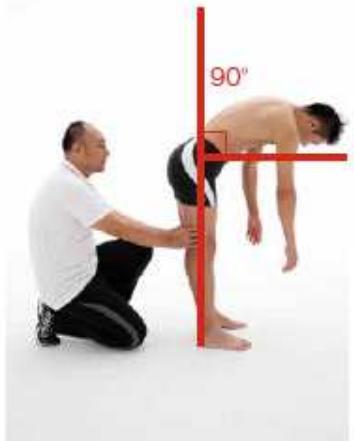
3. ハムストリング筋の左右差検査



前屈 45°
インディケーター・ポイントは、実際に
10~30° から加速するかのように細く
なるさまを感じ取ることです。
45°まで細くならない人は身体のコン
ディションが良好の方です。

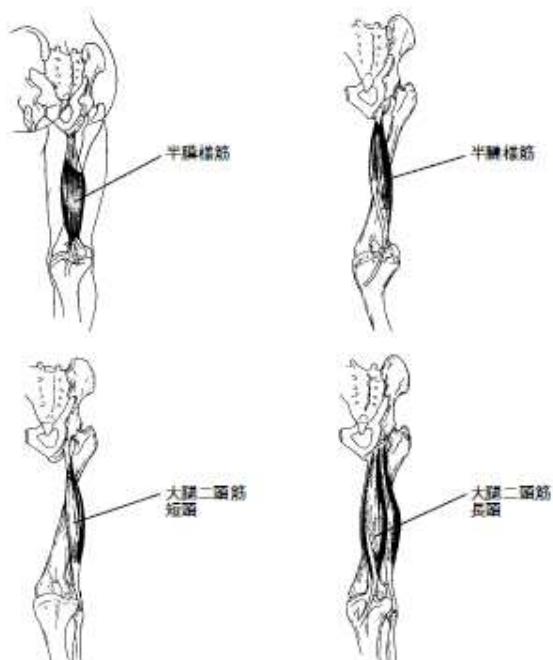


前屈 60°
インディケーター・ポイントは、45°ま
で加速しながら細くなった右ハムストリ
ングの反応に加えて、臀部が左側方に振
れる現象が現れることです。
60°まで細くならない方は身体コンディ
ション良好です。



前屈 90°

この角度まで右ハムストリング筋が細くならない方は健康体です。
60°まで右ハムストリング筋が細くならない方、ここまで前屈してもらえば、どんな細れた左右差をも検出できます。
インディケーター・ポイントは、手等感覚で極細の感じを得て、視診でも極細感が分かることです。

検査
第一回第二回
主筋テクニクン第三回
腰背筋テクニクン第四回
筋肉リラクタス第五回
腰背筋リラクタス第六回
筋肉リラクタスの選択

セラフテクニクン

ペアテクニクン

飛翔テクニクン

特別編